

聖風

せいふう

2020年9月号

●発行責任者／院長 春原晶代 ●編集／企画広報課 ●編集協力／プロジェクトリンク事務局

社会福祉法人聖霊会
聖霊病院

〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56番地
TEL 052-832-1181
<https://www.seirei-hospital.org/>

11



HOT
NEWS

コロナ禍でも安心して 病院で過ごしていただくために。

感染対策チームは病院内で起こるさまざまな感染症から患者さんをはじめとして来院される方、病院で働く職員の安全を守ることを目的として活動するチームです。

感染対策は感染症を「持ち込まない、持ち出さない、拡げない」ことが大切です。私たちは、職員が日頃から感染対策に適切に取り組めるような環境作りや勉強会の開催、困ったときの相談役などを担っています。

2020年は新型コロナウイルスの流

行により世界中の人々にとって未曾有の事態が起こりました。それに伴い当院でも新型コロナウイルスを病院内に「持ち込まれない」ことを目的とした取り組みを行いました。正面玄関と第2駐車場の入り口の開閉時間の制限、入館時の発熱確認など、来院された方々にはご協力いただき誠にありがとうございました。

新型コロナウイルスに対しては免疫を持っていない方が多くいます。そのためまだまだ警戒を緩めること

状況ではありません。患者さんや来院される方、職員が安心して病院内で過ごすことができるように、流行状況に応じた対策を取り、院内感染を防げるよう務めてまいります。

皆さんにはご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、ご協力お願いいたします。



感染対策室
感染管理認定
看護師
鈴木京子



院長 メッセージ

Message of the
hospital
superintendent

2020年9月
病院長 春原晶代

院内感染予防と地域への情報発信

病院では、感染症を治療すると同時に院内感染を予防することが必要です。当院では新型コロナウイルス感染症に対し、多職種からなる感染対策チームを中心に、院内感染予防に努めています。一方、病院祭や講演会等の中止で地域への情報発信

の場が減っています。今後は情報機器を利用した活動を考えていきたいと思っております。

「あいち健康ナビ」というサイトに「かゆい皮膚病(水虫・かぶれ・じんましん)への対処法」という動画が掲載されました。当院ホームページからも視聴可能です。

チームの 基礎知識

多職種が力を合わせ、
病院に関わるすべての人を
感染症から守っています。

感染対策の専門チームが 設置されています。

当院には、医師2名、看護師2名、薬剤師1名、臨床検査技師2名で構成される「感染対策チーム」が設置されており、聖霊病院に関わるすべての人をウイルスや細菌の感染から守るため、組織横断的な活動を続けています。具体的な活動内容としては、日常的に各部署からの相談や介入依頼に対応することはもちろん、週に1回チームカンファレンス(会議)とラウンド(巡回)を実施。感染症に関する情報共有や課題の検討、マニュアルの作成と見直し、感染対策状況のチェック・指導、スタッフの支援などを行っています。また、一人



ひとりの職員が感染対策を徹底できるよう、全職員向けの勉強会を年に2回開催するなど、教育・啓発にも力を入れています。

新型コロナウイルス対策に、 全力で取り組んでいます。

2020年初めに
新型コロナウイルスが
登場して以降、感染対策
チームの活動は「いか



に感染者を探知し、感染拡大を防止するか」が中心になりました。経験したことのないウイルスを相手に、マスクなどの備品が不足する状況下で行う感染対策は暗中模索という状態でしたが、週に1~2回、感染対策チームと経営幹部が集まって「コロナ対策会議」を開き、たくさんの職員の協力も得ながら何とか乗り越えてきました。もちろんこうした活動は現在も続いており、刻一刻と変化する感染状況を見極めながら、その時々合った感染対策を行えるよう、全力で取り組みを進めています。

診療部長メッセージ

感染予防を心がけつつ、
可能な限り日常生活を
維持していきましょう。



第一内科部長
石原政光

新型コロナウイルスの影響で、家に閉じこもりがちになっている方も多いのではないのでしょうか。しかし、高齢の方などが長期間外に出なくなると、運動機能や内臓の機能、認知機能、精神状態などにも悪影響が出る可能性があります。また、持病がある方が自己判断で通院回数を減らしたり、通院を控えたりすることは大変危険です。感染対策に充分配慮していただきながら、できるだけ日常生

活を維持することを、心がけるようにしてください。

その一方で、新型コロナウイルスとの戦いが長期化すると、ウイルスの存在に慣れ、感染対策に緩みが生じることがあります。緊急事態宣言時にStay Homeという言葉が叫ばれましたが、今後はStaying Careful(注意深くあり続ける)の姿勢が大切になるのではないのでしょうか。

予防の 基礎知識

私たち一人ひとりが
感染対策を意識し続けること。
それが何より大切です。

感染対策が特に必要な季節。 まずは予防接種を忘れずに。

寒くなり空気が乾燥する秋・冬は、特に感染症に注意が必要な季節です。インフルエンザやノロウイルスの流行が本格化し、インフルエンザに伴って肺炎球菌感染症を患う高齢者も出てきます。そして、もし新型コロナウイルスとこれらの感染症が同時に流行すれば、「皆さんの健康」も「それを守る医療」も大きな危機にさらされます。そういった事態を防ぐためには、各自が「予防できるものは予防する」という姿勢を持つことが大切です。その一つがワクチンの接種です。感染症



の中でもインフルエンザや肺炎球菌感染症にはワクチンがあります。感染症のリスクを少しでも減らすため、流行の1カ月ほど前には予防接種を受けるようにしましょう。

基本的な感染対策を 普段から心がけましょう。

一方、新型コロナウイルスにはまだ確立した予防・治療法はなく、安全性と効果が実証されたワクチンや治療薬が完成するまでには、長期間を要するといわれています。そのため、新型コロナウイルス対策としては、これまでと同様に、適度な栄養摂取や運動などで免疫力を高め、手洗い・手指消毒、マスクの着用、三密の回避、換気、消毒といった基本的な感染対策を徹底するしかありません。そのなかでも特に手指衛生と飛沫対策は大切です。皆さんも、人と会うときは鼻までしっかりマスクをつけ、定期的な手洗いや手指消毒を心がけてください。



薬のスペシャリストとして、 感染症の服薬治療を支えています。



薬剤部係長
伊東健司

私は、感染対策チームにおいて、主に抗菌薬をはじめとした薬の取り扱いを担当しています。新型コロナウイルスとの関わりとしては、消毒薬の管理、持参薬の管理方法の作成などを行い、感染防止に努めています。また治療薬が必要となる際には、薬剤師として安心・安全な服薬治療を全力で支援したいと思います。

Talk
01

感染症の発生を院内に周知徹底する。 それが私たちの役割です。



臨床検査技術科
技師長補佐
市川秀次

感染対策において、私たち臨床検査技師の役割は「感染症の発生状況をいち早く院内に伝えること」です。検査を担当する臨床検査技師は、当然、院内で最初に感染症の発生を知ることになります。私たちはその情報をできるだけ早く院内に周知することで、注意を喚起し、感染拡大を防ぐことをめざしています。

Talk
02

病院からのお知らせ

オンライン説明会を利用してはたらくイメージを探ろう!

2020年度はコロナ禍で合同就職説明会や病院主催の見学会、インターンシップが開催されないことが多く、就職先の情報収集には苦慮されていると思います。当院では医学生・研修医・看護学生・助産学生を対象にZOOMを用いたオンライン説明会を実施しています。看護・助産学生さんの場合は、どの分野に興味を持っているか、どんなことを学びたいかをお聞きしながら病院や看護部の紹介を実施しています。オンライン説明会に参加した学生さんからは「スライドを使った説明がわかりやすかった」「病院の雰囲気を感じることができた」などの感想がありました。直接、来院できない分、オンラインを利用して聖霊病院のことをお伝えできるように、今後も企画・運営していきたいと思っています。

病院見学・インターンシップ、オンライン説明会は病院ホームページで日程等掲載しています。ご希望の方は病院ホームページの採用情報にあるお問い合わせフォームからお申込みください。



お問い合わせフォーム



@seirei-hospital.orgを受信できるように設定をお願いします

聖霊病院ボランティア「あおぞら会」のご紹介 (2020.3~新型コロナウイルス感染症拡大に伴い活動休止中)

聖霊病院にあります3つのボランティアグループ「みどりの会」「あおぞら会」「にじの会」の内、今回は2つ目の「あおぞら会」についてご紹介させていただきます。

「あおぞら会」は、1995年7月に発足されたボランティアグループです。前回ご紹介させていただきました「みどりの会」は「物」を通して患者さんと関わるボランティアグループであるのに対し、「あおぞら会」は直接患者さんと関わるボランティアグループです。

活動内容は、外来の案内や再診受付機・自動精算機の案内、リハビリ送迎、いりなかカフェの運営サポート、レクリエーション、車イス整備などさまざまです。月曜日から土曜日までの週に1回、決まった曜日の、午前の部(9:00~12:00)、または、午後の部(1:00~4:00)での3時間の活動となっています。「あおぞら会」会員の皆さんは、訪れた方々、関わった方々が安心して過ごしていただけるよう、いつも誠実で温かな対応を心がけて活動をしてくださっています。

カトリック社会事業室 ボランティアコーディネーター 矢沢梨津子



病院ホームページリニューアルのお知らせ

2020年7月1日に大幅リニューアルを行いました。

掲載している情報量は以前と変わりませんが、患者さん目線で目的の情報を得られるように再構成を行いました。スマートフォン用ページもありますので二次元バーコードを読み込んでご覧ください。



病院ホームページ

<https://www.seirei-hospital.org/>



編集後記

今号では、感染防止対策に焦点を当てて記事を構成しました。昨今の新型コロナウイルスへの備えに加えて、冬場に蔓延するインフルエンザの対策にもなりますので、ご自身やご家族の身を守るための一助となれば幸いです。また、これを機に病院としても感染対策の重要性を再認識しました。気持ちを新たに診療に臨みたいと考えます。企画広報課(鈴木)